

平成 16 年 10 月 27 日

各 位

会 社 名 株式会社アイロム  
代 表 者 名 代表取締役会長兼社長 森 豊隆  
(登録銘柄・コード 2372)  
問 合 せ 先  
役 職 取締役 総務・人事・IR本部本部長  
氏 名 秀島 直樹  
電 話 03-5436-3148

## オーダーメイド創薬株式会社への出資に関するお知らせ

当社は、オーダーメイド創薬株式会社（本社：東京都品川区、代表取締役：墨屋 勇、以下、同社という。）の設立に際し、下記のとおり資本参加を行ったことをお知らせいたします。

### 記

#### 1. 出資の目的

当社は、バイオ及びゲノム関連技術の発展に伴う新薬開発の急速な変革に迅速に対応すべく、かねてよりオーダーメイド医療による SMO 事業の新規展開を進めておりました。

今回、当社 SMO 事業の更なる発展への寄与を目的としてオーダーメイド創薬株式会社の設立に際し、資本参加を決定いたしました。

新薬の研究開発には、候補化合物のスクリーニングから非臨床試験、臨床薬理試験（第 相）探索的試験（第 相）検証的試験（第 相）の各段階があり、シーズの発見から新薬としての承認まで数十年の年月を要するのが普通です。しかし、効能効果に対して副作用が強いと判断されたり既存薬に比べて有効性が低いとして、臨床試験の段階で開発を断念したりするものも少なくありません。しかし、同一の薬剤を投与したとしても、どの程度体内に吸収され、どのように分布し、代謝され、排泄されるか、薬剤のターゲットにどう効果を発揮するかは、個人によって異なります。この結果、あるグループの人には有効性が低くても、他のグループには有効であったり、あるグループだけに副作用が強くてたりすることがあります。このような薬理作用の個人差は、個人個人の遺伝子の違い（SNPs）によることが分かっていますが、新薬開発にあたっては遺伝子の違いを無視したまま、治験計画が策定されています。このため、それまでに投下された資金がそのまま無駄になっているのが現状です。

オーダーメイド創薬株式会社は、このような点に着目し、安全性には問題はないが、有効性に問題が生じたため開発を断念した新薬の開発権を取得し、SNPs のタイプ別に有効性を検証し、特定の遺伝子型を対象に向けた新薬を開発することを基本事業としています。この結果、それまでに行われた研究成果を生かすことができ、また、遺伝子型タイプ別の治験計画となる為、有効性の判断が容易となり、開発期間、費用共に大幅に短縮することが可能となります。

このような事業を実施するため、同社では遺伝子研究の最先端をいく先生方や各分野の専門家である多数の大学の先生方をアドバイザーボードに迎えることとしています。

当社といたしましては、当該出資及びそれに伴うオーダーメイド医療への参画により、SMO 事業の確固たる基盤構築及び更なる業容拡大が可能であると考えております。

## 用語解説

### 〔オーダーメイド医療〕

患者の遺伝子情報に基づいて、個々に最も適した方法で、疾患の予防や治療を行うこと。

### 〔SNPs（一塩基多型）〕

SNPsとは、Single Nucleotide Polymorphisms の略であり薬効の違いや副作用の発現の有無等を左右すると言われる遺伝暗号の個人間の違いのこと。ヒトゲノムには、300万～1,000万ものSNPsが存在すると言われており、これらのSNPsをマーカーとして個人個人の遺伝子の多様性を調べることで、薬剤に有効性を示す人と示さない人とを区別し、更に個々に見合った適切な薬剤の量を見つけ出すことが出来ると考えられている。

## 2. 出資の概要

- (1) 出 資 日 平成 16 年 10 月 15 日
- (2) 出 資 額 625 万円

## 3. オーダーメイド創薬株式会社の概要

- (1) 名 称 オーダーメイド創薬株式会社
- (2) 主な事業内容 遺伝子及び遺伝子産物、遺伝子及び遺伝子産物が関与する疾患の研究、その治療法の開発並びに販売
- (3) 設 立 平成 16 年 10 月 19 日
- (4) 本店所在地 東京都品川区大崎一丁目 11 番 2 号
- (5) 代 表 者 代表取締役 墨屋 勇
- (6) 資 本 の 額 3,000 万円
- (7) 出 資 比 率 株式会社アイロム 20.8%出資

## 4. 今期の業績に与える影響

当該出資に伴う今期の業績見通しに与える影響に関しましては、現時点では軽微であると考えておりますが、見通しに変更等が生じる場合には速やかに対応いたします。

以 上